

第9回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨

- 1 日 時 平成22年3月18日(木) 14:00~16:00
- 2 場 所 田原市役所南庁舎600会議室
- 3 出席者 ○委員16名 山本和子(会長)、中村都祁子(副会長)、大羽敏、大羽通之、鈴木佳余子、松本耕治、森下静子、伊藤立、小久保京子、太田由紀夫、鳥居和子、山本明子、杉浦拡、加子幸子、永田みよ江、渡会里美
(欠席9名: 田中敢、荒木英夫、石井敦子、大久保哲夫、櫻井貫二、渡辺清子、河合美恵子、朝倉登喜子、平野利依)
- 事務局3名 藤井市民協働課長、鈴木副主幹、広中主任

4 議題要旨

(1) 報告

①市の取組状況について … 事務局説明(資料1、資料2、資料3)

- ・推進プラン取組状況
- ・平成22年度市の取組予定
- ・平成22年度市民協働課の取組予定

○質問>【資料1】の「…」印と空欄のものとの違いは。

→事務局回答>「…」印は未着手のもの、空欄は市民等の欄で、市の方で把握できていないものです。

○質問>【資料2】の5の推進体制の8番。市・市民等の取組を促進する条例等の検討が予定なしになっていますが、全く予定がないということですか。

→事務局回答>22年度には、条例制定までの予定はないという意味。全然やる気がないと捉えられると困るので、書き方を修正する。

◆【関連意見】

懇話会で話していくうちに、懇話会では埒が明かないことが出てくると思う。その時に考えていくことになる気がする。

○質問>DV被害者サポート支援の体制強化について、男女共同参画と関係があるので入れた方がいいと思う。

→事務局回答>子育て支援課が所管課になりますので、確認して報告できるようにする。

◆意見>【資料2】の1の(1)の5番。児童虐待防止事業について、これなら大丈夫と思いつながりながら対応した結果、子どもの命を失うという痛ましい事件がある。そういうことにならぬよう、二重三重のサポートをお願いしたい。

○質問>【資料2】の1の(1)の4番。家庭相談事業について、赤羽根には配置されていないのか。

→事務局回答>今のところ、市役所、渥美福祉センターの2ヶ所に各1名ずつ配置されている状況。

◆【関連意見】

- ・連絡を取るネットワークだけは作ってほしい。
- ・相談事業は、使いやすいものであるように。

○質問>取組の実績などを示すことはできないのか。

→事務局回答>実績が確定すれば、示していく予定である。

②各委員の取組状況について …… 各委員報告（資料4）

《報告内容》

- 行政相談委員としての活動について報告。男女共同参画フェスティバルと福祉のつどいの時に相談コーナーを設置して啓発したことを追加。活動の中で、男女共同参画の意義などを話し合ってきた。
- 市民協働まちづくり支援事業ということで、採択を受けてライフアップセミナー6回を行った。福江中学校などで、ウィットのメンバーが中心となり、大型紙芝居実施。イベントにて4回ほど、寸劇による性の啓発活動を実施。子宮頸がんのワクチンが10月から投与されたというようなことも含めて、性教育の必要性について校長会や市長などと話をし、来年度につなげていきたい。その流れは、青少年健全育成会とも作っています。
- 夢をかなえるライフプラン作成セミナーを田原市社会福祉協議会との共催により実施。子育て世代を対象にという趣旨であったが、参加者は未婚のカップルの方、婚活中の方、子育て世代の方、定年を迎える方というような種々さまざまな世代であり、深く掘り下げてできなかった。参加された方たちの中には、自分の生活を考えると言うテーマについて、いろいろな世代の方が、考えているということがわかった。
- あかばねひらがなの会の一年間の活動について報告。始めは、子どもも小さかったが、年数を重ねるごとに、子どもも大きくなった。親子での参加がほとんどで、楽しく活動している。

（2）検討事項

①重点推進テーマ・実践事業について …… （資料5、6）

平成21年度の重点推進テーマ・実践事業の評価

- ・田原市男女共同参画フェスティバルの実施。重点推進テーマ「ライフバランス」を全面に出しての啓発はできなかった。しかし、ファイナンシャルプランのブース設置や参加団体の活動を紹介できたことは、「ライフバランス」の一端と捉えられると考える。そのつながりや考えを理解していただく取り組みが必要であったと思う。
- ・あいち国際女性映画祭の実施。映画選定について、「ライフバランス」を考慮しなかったが、「ライフバランス」を考えることにつながる作品であったと思う。
- ・男女共同参画ニュースの発行。「子育て（パパママスクール）に関すること」と「家庭における男女の役割（市民アンケート調査にみる男女の意識差）」について掲載。子育て・家庭について、今一度考えていただくきっかけになったかと思う。
- ・市職員向け研修会の実施。監督者を対象に「ワーク・ライフ・バランスの意味」という演題で、椋山女学園大学教授の吉田良生先生に講師をお願いし、意識啓発の研修を実施。

平成22年度の重点推進テーマ・実践事業の決定

《事務局説明内容》

- 平成22年度の重点推進テーマ等については、問題意識を共有しつつ、それぞれの立場で相互に連携することにより、具体的な実践に移すことを目指すテーマを検討していただきたい。

《決定内容》

- 重点推進テーマは「男女を隔てる意識の解消」とする。
- 実践事業は「男女共同参画フェスティバルでのブース設置」「男女共同参画に関する事業の現状把握、情報収集」「DVの啓発」「意識解消の自己目標を設定」「男性の意識改革」「介護・認知症の学習・啓発」とする。

②その他の男女共同参画の推進に関する提案等

- 愛知大学と田原市との協定に、男女共同参画の視点を入れてほしいと思う。
- 高島屋に派遣されている職員の話懇話会で伺いたい。
- 地域での女性の進出のため、男性も女性も役を受けやすい形を考えて提案していく。
- 次回の懇話会では、それぞれの立場で、男女共同参画社会の実現に向け、活動されている状況等について報告する。

(3) その他

① 次回開催 … 事務局

- ・次回は5月中旬の開催を予定。
- ・啓発パンフレット等の紹介

- 5 資料
- [資料1] 推進プランの取組状況
 - [資料2] 田原市の取組予定一覧
 - [資料3] 平成22年度の市民協働課取組事業（予定）
 - [資料4] 各委員による取組状況
 - [資料5] 平成22年度の推進テーマ等の検討
 - [資料6] 平成22年度重点推進テーマ・実践事業について

以上

第9回田原市男女共同参画推進懇話会 出欠簿

| 通番 | 役職 | 氏名 | 備考 | 出欠 | グループ |
|----|-----|--------|-----------------------------|----|------|
| 1 | 会長 | 山本 和子 | 学識経験者) 愛知大学短期大学部非常勤講師 | 出 | A |
| 2 | 副会長 | 中村 都祁子 | 市の関係組織) 行政相談委員 | 出 | B |
| 3 | 委員 | 大羽 敏 | 地域団体) 田原市総代会長(神戸校区総代) | 出 | A |
| 4 | " | 大羽 通之 | ") (社)田原青年会議所田原活性化委員長 | 出 | B |
| 5 | " | 鈴木 佳余子 | ") たはら国際交流協会 | 出 | B |
| 6 | " | 田中 敢 | 医療団体) 愛知厚生連渥美病院総務課長 | 欠 | — |
| 7 | " | 松本 耕治 | 福祉団体) 田原市社会福祉協議会総務課長補佐 | 出 | C |
| 8 | " | 森下 静子 | 市民団体) 女性会議 WIT ウィット代表 | 出 | C |
| 9 | " | 荒木 英夫 | 産業関係) 中山漁業協同組合長 | 欠 | — |
| 10 | " | 石井 敦子 | ") 渥美商工会女性部長 | 欠 | — |
| 11 | " | 伊藤 立 | ") 田原市認定農業者連絡会会長 | 出 | C |
| 12 | " | 大久保 哲夫 | ") 愛知みなみ農業協同組合人事課長 | 欠 | — |
| 13 | " | 小久保 京子 | ") 田原市商工会女性部長 | 出 | C |
| 14 | " | 櫻井 貫二 | ") トヨタ自動車(株)田原工場人事グループ長 | 欠 | — |
| 15 | " | 渡辺 清子 | ") 田原市観光協会旅館業組合員((有)丸久黒潮) | 欠 | — |
| 16 | " | 太田 由紀夫 | 市議会) 田原市議会議員 | 出 | A |
| 17 | " | 河合 美恵子 | 各種委員会) 田原市農業委員会委員 | 欠 | — |
| 18 | " | 鳥居 和子 | ") 田原市防災会議委員(田原市赤十字奉仕団委員長) | 出 | A |
| 19 | " | 山本 明子 | ") 田原市教育委員会委員 | 出 | C |
| 20 | " | 杉浦 拓 | 市の職員) 市民環境部長 | 出 | B |
| 21 | " | 朝倉 登喜子 | その他市民) 公募者 | 欠 | — |
| 22 | " | 加子 幸子 | ") " | 出 | C |
| 23 | " | 永田 みよ江 | ") " | 出 | A |
| 24 | " | 平野 利依 | ") " | 欠 | — |
| 25 | " | 渡会 里美 | ") " | 出 | B |